成人映画

昭和44年12月18日 第3種郵便物認可 昭和47年12月1日発行通巻83号 毎月1回1日発行

83

1972＝¥200

特集●席捲したポルノ映画の静と動●衝撃の映像

性の全告白●早熟な肉体の構造〈篠原千恵〉の意外な感じ方

新刊・日活ロマンポルノ大全集

日活ロマンポルノがこの一冊でわかる！

50本の作品の名場面の全貌をカラーとグラビアで集録（二四〇ページデラックス版）

この特製保存版は書店では売っていません。ご注文は現代工房へ

日活　衝撃のフイルム

ロマン・ポルノ大全集 1

ロマン・ポルノ監督名鑑

ロマン・ポルノ・スター女優名鑑

表紙　田中真理

日活ロマン・ポルノ大全集

¥500

—内容—

- ●「色暦大奥秘話」から「八月はエロスの匂い」までカラー32ページで紹介
- ●衝撃の名場面50本グラビア
- ■評論集—人間の根元をとらえる日活ポルノ路線＝村井実
- ■ポルノ映画はだから必要なのだ＝斉藤正治
- ■ポルノ映画評＝セックスプレイからみた日活ロマンポルノ＝眼次郎
- ■女優の股に向って突入せよ・日活ポルノを支える若い才能たち＝斉藤正治
- ●刑法一七五条に挑むロマンポルノ監督名鑑
- ●ロマンポルノのスターたち＝女優名鑑
- ●ロマンポルノ作品リスト

現代工房の編集レイアウトにより、辰巳出版から出版しました。

特製本一冊500円。現代工房で注文次第郵送します。現金書留で注文下さい。送料145円

新・魅力探検
悦楽無常・北美マヤ

悦楽無常・北美マヤ

渥美マリのベッドシーンのスタンドインを2本もやっている。彼女の方がプロポーションが抜群にいい。ファック・シーンをやらせたら、その迫力はかなりのもの。

これも国際的な性体験がものをいっているからだろう。「自分の手(プロデュースと主演)で映画を作るのが夢。ぜひやりたい」と映画に真から惚れぬいている。共立女子短大中退。英会話がペラペラ。S―160、B―90、W―60、H―88。

最近作「濡れ濡れ欲情記」。21才群馬生まれ。

撮影場所・山梨の某旅館で。カメラ・村井実

成人映画

No. 83――目次

表紙・北美マヤ

3 ●新・魅力探険／悦楽無常＝北美マヤ

12 ●特集＝72年ピンク映画界を回顧する

席捲したポルノ映画の静と動

16 ●ロケ・レポート＝柳の下の2匹目を狙うド根性!?

沢賢介監督「持出しヌード裏ばなし・濡れ濡れ欲情」

19 ●シネ基地街

20 ●衝撃の映像＝今月の話題作紹介

色狂い　女子学生性科入学　制服の白い肌　秘中の秘

欲情七つ道具　女淫の丘　性の秘密　感度バツグン　ほか

28 ●ピンク映画みたまま

幼な妻・初夜のよろこび　性処理のテクニック

30 ●ポルノ対話《性の全告白》

早熟な肉体の構造＝篠原千恵の意外な感じ方

34 ●洋画ポルノ情報

38 ●顔・山本　晋也＝エロチック風刺劇の鬼才監督

40 ●日活ポルノ情報

42 ●編集後記

したポルノ

●72年ピンク映画を回顧する

映画の静と動

CMの「ふりかえってみるのもいいサ……じゃないけど、ことしのピンク映画界をふり返ってみると、いろいろ反省の材料ばかり。

過去はいわないーというのはカッコいいけど、過去あってこそ、きょう、未来がある。前進の73年へ飛躍するために、多難だった72年を回顧してみたい。

上・若松孝二監督と谷ナオミ

1 日活ポルノ攻勢に明け暮れる

ことしもあと一ヵ月。ピンク映画界が残したさまざまな出来ごとを回顧してみたい。プラス、マイナス面をもう一度ふりかえって反省してみるのも、つぎへの前進につながるからだ

まず、日活ロマンポルノが、いさましい進撃ぶりをみせて、やはり大きな刺激の材料になった。渡辺護監督は「日活作品をみて、態度をかえることにした。ファック・シーンはもっと大胆にとる」と「男女和合術」で、霧原ゆか、松浦康のベッド・シーンをかなりハッスルしてとった。

それは日活ポルノが男優もパンツをつけないで、かなりのシーンをやっていることから本家が〝映倫に遠慮〟することはないという反抗からだった。

〝恥毛鎖国ニッポン〟の現状も〝日活ポルノ〟の悲しい規制の現実として、本誌

席捲

「男女和合術」で大胆なベッド・シーンを演じる霧原ゆかと松浦康

をはじめ、各週刊誌でもさかんにとりあげた。

2 「恋の狩人」「愛のぬくもり」のワイセツ事件

一月、日活ロマンポルノ「恋の狩人」ほか二本がワイセツ罪容疑で摘発。とうとう来るものがきた。これが〝言論、表現の自由〟の弾圧につながるとして、マスコミが一斉に俎上にのせた。そして〝ワイセツとはなにか〟〝性表現の限界は〟と問い直された。

こうしたことからファック・シーンでは、腰の部分に〝用心のための部分ボカシ〟がはやり出した。

さらに4月28日、警視庁は日活ポルノ「愛のぬくもり」が二度目の手入れをうけた。

その理由は、前回はハダカで性行為しているのが、扇情的としたのに対して、

こんどは「衣服をまとっているが、きわめて感情的な声を出させているので、ワイセツ」としている。このシーンは大学生に、和服姿の南条マキが騎乗位スタイルで迫る場面が、ワイセツだというのだが、さらに七ヵ所も指摘の対象になった。セックスしても感情を露骨に出したり、声を発することもままならぬというわけだ。

4 警察権力介入にマスコミが反発！

こうした〝警察権力の介入〟について、毎日新聞が、かなりきびしく批判した。

「権力の介入が人間の表現行為を変えてしまうのがおそろしい。警察権力は本来、表現の問題にタッチするべきでないし、ワイセツと判断できる根拠はどこにあるのだろう。一段高いところから手を入れようとする姿勢は、明らかに出しゃばりであり、国民はそれだけの権限を委託してはいないはずだ」。

日活ロマンポルノ「愛のぬくもり」

4 テルアビブ空港乱射事件と若松監督

この夏、テルアビブ空港乱射事件で、若松孝二監督が作った記録映画「赤軍―PFLP・世界戦争宣言」全マスコミが取りあげ、若松孝二は〝時の人〟となった。

5 谷ナオミら即席監督の是非論

ピンク映画界の底迷の一現象として、俳優が監督業に手を染めたのも、ことしの大きな特色。野上正義が「性宴風俗史」（六邦映画）を、谷ナオミが「性の殺し屋」（同）と「飢えた淫獣」（同）と二本も手がけた。これが、「即席監督に何が出来るか」で、監督と俳優の間で論義のマトとなった。

6 ピンク女優の日活ポルノへの転出

「一条さゆり・濡れた欲情」の一条さゆり

ピンク映画からの新人組は大芝かおり、霧原ゆか、鏡洋子、小川マリア、水木良子、芹河美奈、山樹友代、月山友美、城新子、加藤リサ、瀬良美似らがあげられる、が果たして何人が女優を目ざして残って活躍しているだろうか。その反面では、ピンクから日活に活躍の場をかえた宮下順子、山科ゆり、カムバックの二条朱美、白川和子が完全に定着してしまった。

成長株の水木良子と城新子

7 帰ってきた日本映画 ピンクは帰ったか？

日活ロマン・ポルノが世評でさわがれ、興行的にも軌道にのり、「一条さゆり・濡れた欲情」と「エロスの誘惑」が一億円の大ヒット、そして十五校の大学祭で引っぱりダコとなったし、田中真理というスターも生まれた。

ことしは完全に〝日活ポルノ〟に斬りまくられたというべきだろう。

そして、それに反論できるほどピンク映画界の切り札もなかった。

映画が商品でありながら、それを売りまくる宣伝をしないで〝売ろう〟とする時代離れの現状、企画が時代と観客にアピールしない点や、製作費の問題と、数えあげたらきりがないが、来年は東映と、東宝がかなり積極的にポルノ映画と取り組む体制だし、いよいよもってピンク映画は苦難の状況に立たされることは必至だ。

〝帰ってきた日本映画〟といわれ、一時は映画にかわるレジャーとしてボーリングがモテはやされたが、東映の例をあげると、ボーリングが下火になり、映画が盛り返した現況を証明している。それだけに〝不死鳥の映画〟であり、レジャー産業にカムバックするだろう。

ピンク映画のファンを増加させるには、時代を読み、もっと情熱を燃やしてゆくべきなのだ。

話題作ロケ・ルポ

柳の下の二匹目を狙うド根性!?

演出する沢賢介監督

特出しストリッパー一条さゆりの主演映画「濡れた欲情」（日活）がヒットしたことから、そんな素材で稼げるんなら、もっとおもしろい奴をお目にかけましょう――と、こんどはベテラン沢賢介脚本・監督でカメラを回したのが「特出しヌード裏ばなし・濡れ濡れ欲情記」（製作・関東ムービー、配給OP映配）。「濡れた欲情」とアンコールさせて〝濡れ濡れ〟としたタイトルなんかいかにもってところだが、果たして日活ロマン・ポルノを上回る作品の出来と、ヒットを生み出すかどうか。まずはその現場をのぞく……。

ザコ寝の中でするSEXテクニック

沢賢介監督「特出しヌード裏ばなし・濡れ濡れ欲情記」

ドサ回りの特出しストリッパー、アミ敦子（アングラ劇団の女優）は一座の人気スター。子供がいて、大学に入れるためにいいカモがいると体を与えて稼ぐ女。高見由紀はひとり寝がさびしくてアル中、劇場支配人の北村淳からセックスしてもらって、アル中もなおる。桜マミはアレが好きで、照明係兼用心棒の堺勝朗と深い仲。昔のイロが出所してくるというので、仲間の金を持ち逃げする。

北見マヤは重役の市村譲二をたぶらかして、金をまきあげようとするが、逆に金をとられ、不渡り小切手をつかまされ、セックスもいただかれてしまうという女。四人のストリッパーのセックスと、泣き笑いの人生模様が描かれる。

撮影現場は山梨の石和（いさわ）温泉畑の中にモーテルが数軒建っており、そ

桜ヤミと堺勝朗のベッドシーン

の畑を開いて建てたあるミュージック・ホールを借りての撮影。ハデな関西ヌード特別出演、なんとかの女王といった看板が並べられており、現にある一座が公演中だが、その開演の間を借りて、舞台と楽屋をフルにロケセットにしてしまうという、ピンクプロダクションの器用さ。この根性とバイタリティはまだまだどうしてなかなかのもの。

撮影は劇場の楽屋、六畳の部屋に洗たくもののブラジャーやパンティなどがほされてあり、メーキャップの鏡の前にさまざまな日常品が雑然とある。そして高見由紀と北見マヤがフトンをかぶって寝ており、桜マミのイロの堺勝朗がこっそりと忍びこんできて、セックスをするという、旅回り一座のザコ寝の中の性生活が描かれるってワケなのだ。

六畳一間にカメラ二人、ライトマン二人、助監督一人、記録係一人、監督、女優三人に男優一人、それにこちら記者一人で計十二人。タタミ一枚に人間二人、カメラはほとんど手持ち。桜マミと堺のセックス・シーンでは女優二人に出てもらって撮るという寸法。

桜マミにのしかかり、はげしくセックスする堺勝朗、もう手慣れたセックスシーンである。マミが声をあげそうになって、堺があわててタオルを彼女に噛ませる芝居があったり、マミが女上位でエクスタシーに達するみせ場が盛り込まれたりして、ベテラン沢監督の演出は手なれたもの。

桜マミは激しいファックシーンに備えて、〝前貼り〟をしたのが、なんとバンドエイトの大判。それも恥毛全体に貼るのではなく、ワレ目ちゃんにだけにペタリ。だから黒いのは丸出しなのだ。「ANAの方はどうでもいいんだよ。こちらケイカイしてんのは、OKEKEなんだよ。変な女だな」と沢監督。

桜マミはそれには答えずニンマリしていた。

SHINE KICHIGAI シネ基地街

73年のピンク映画カレンダー出そろう

73年のピンク映画界のカレンダーが出来上った。OP映配は早田雄二カメラマンの撮影になる七枚組で、由美てる子、三笠れい子らをモデルにしたカラー版。

ミリオンフィルムでは、アメリカのトップカメラマン、トム・ケリー氏の撮影になる外人女性モデルのカラーカレンダーで、七枚組。ケリー氏は無名のマリリン・モンローを撮って大スターに育てあげた人。外人モデルのボインの可愛い子ちゃんがなかなセクシーだ。映画館で発売中だが、一部五百円。

ポルノ映画をあなたも撮ってみませんか

ポルノ映画もただ見るだけから、〝私にも写せます〟というわけで、東映の傍系会社、東映観光がはじめたのは「8ミリポルノ撮影ツアー」だ。ピンク女優三人に男優一人、監督、ライトマンらが撮影指導するというもので、一泊二食、バスを仕立てて箱根湯本のホテルを借りて、さる11月3、4日行なわれた。定員40名で満員次第締切。この企画を考えたのが向井寛監督で、演技と撮影指導は同監督がつとめ、一回目はなかなか好評だった。

二回目は12月2、3日の二日間行われるが会費が29、500円也。フィルムは二本まで撮影という制限つきだが、現像と編集もしてくれる。ポルノ時代、ナマの迫力を自分のカメラで撮影するというツアー、さておつぎはどんなのが出てくるか。

惜しまれて消える映画と誕生する川口OP映画館

映画館が閉館になるのはさびしい限りだが、東京都内の荏原センター（ピンク映画専門館）が、このほど閉館した。

取り壊したあとは区の遊園地になる。九年間ピンク映画を上映しつづけただけにこんどのさよならは、ファンから惜しまれている。

★

OP映画では、新しく川口市に「川口OP映画館」を12月15日開館する。

これでOP映画封切館は21館となり、ボーリング場が下火なところから、ピンク映画上映館の増設に力を入れるというから、大いに結構。閉館するところもあれば、逆に誕生するところもあり、暗いニュースばかりではございません。

SCREEN EROTICISM 衝撃の映像

今月の新作紹介

色狂い =国映配給

トップ屋くずれの信吾（武藤周作）はフト見た邦子（速見かほり）にひかれ身辺を洗い出すうち、不動産屋金子（冬木京三）を間に公団総裁芝山（神原明彦）が邦子のパトロンであることを突きとめる。強引に邦子と関係をつけた信吾は金子の黒幕に某銀行の頭取植村（九重京二）の存在を知り、邦子を味方にし土地買占めの策謀をする金子を脅し甘い汁にありつこうと策を練るが、味方の筈の邦子を利用するつもりの信吾は…。監督＝向井寛

▶エクスタシーの表情がいい青山リマ

▶新人速見かほりの感じるベッド・シーン

「制服の白い肌」

「女子学生性科入学」

女子学生性科入学
＝ミリオンフィルム配給

姉の貴子（あべ聖）はＯＬで強姦にあい犯人を探すため警官の信次（国分二郎）に相談する。妹の昌子（高見由紀）は女子大生で五郎（島たけし）とセックスに夢中だが姉の恋人辰也（津村茂）を横取りしようと狙っている昌子は辰也の前では処女を装っていた。監督＝中村幻児

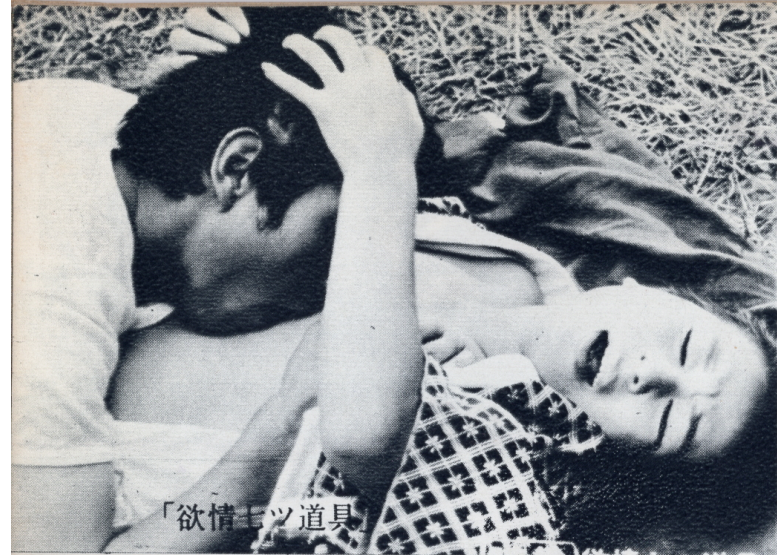
制服の白い肌
＝ＯＰ映配提供（サン企画製作）

弓子（浜のら）マリ子（浅野純子）英二（島たけし）隆（鈴木あきら）宏（渡隼人）の高校生のグループは性を遊び奔放な生活をしてる。英二とマリ子、隆と弓子の愛情が芽ばえたが宏はマリを愛していた。一方、弓子は中年の浩一（杉山挙一郎）の世話になっていた。監督＝志村栄三

欲情七つ道具
＝ＯＰ映配提供（ワールド映画製作）

妙子（東裕里子）は父（坂本昭）が人殺しで刑務所に入っているとき綱元一家に引き取られる。綱元の一人息子栄司（中山光生）と愛し合い関係があったが父にはひた隠しにしてた。父はなぜか綱元一家を憎んでいたため栄司と結婚したい妙子は父にいえないのだ。監督＝加奈沢史郎

秘中の秘
＝ＯＰ映配提供（大東映画製作）

原田（久保新二）の妻恵子（水木良子）は夫のセックスに不満だ。同じ団地の山中（松浦康）の妻妙子（北見マヤ）も週に五回もやってるが夫だけが満足してしまうのでいつも不満だった。ある日、こうした二組の夫婦が一緒に旅行に行き家族風呂での四人は……。監督＝渡辺護

「欲情モツ道具」

「秘中の秘」

「女淫の丘」

「男が知りたい性の秘密」

女淫の丘＝葵映画配給

肉体派ナンバーワンの女優弘美（杉本舞子）は雑誌社のカメラマンの杉田（椙山拳一郎）から資産家の社長（小柴京二）の二号になれといわれる。社長の妻は病身であと半年の命といわれ弘美は正妻の座を狙って大熱演するがその裏には緻密に演出された罠があった。監督＝西原儀一

男が知りたい性の秘密＝OP映配提供（大東映画製作）

老人の松岡（堺勝朗）は自分の性欲のためある計画する。それは黒田（今泉洋）に妻の洋子（水木良子）を抱かせて隣の部屋でのぞくことだ。若い黒田は美しい洋子の裸体にまんまとその計画にはまる。その夜、松岡は妻を取られてたまるかーとたけり狂うが……。監督＝渡辺護

▲「未開娘の性」▼「痴漢天国」の泉ゆり

未開娘の性

=OP映配提供（大蔵映画製作）

圭子（林美樹）はセックスに興味がなく真木（国分二郎）に抱かれても感じない未開娘だ。しかし男たちは圭子の体は素晴しいとほめ彼女にセックスに興味をもつようコンサルタントの平田（武藤周作）に頼む。圭子の体は十万人に一人という名器だったため圭子はその気になり…。監督＝小川卓寛

痴漢天国

=OP映配提供（関東ムービー製作）

技師の透（野上正義）は透視レンズの研究が成功して喜ぶが妻の洋子（泉ゆり）は研究に夢中な夫に不満で家出する。衣類が透けて裸で見えるレンズで覗いたら…。透視の部分は色が変わる透視映画。監督＝関孝二

変質者

＝ミリオンフィルム配給

修理工の哲治（水野正夫）は貧しい生活はいやだと恋人の百合子（沖さとみ）を殺しダイヤを盗み、客の金持ちの女美紀（谷射知子）を誘拐する。美紀は父の会社の信也（坂東国広）と婚約していた。監禁された美紀は哲治に犯されるがダイヤを金にかえたため足がつき…。監督＝和泉聖治

▲「変質者」の谷身知子▼「恍惚の遊び」の芹河美奈

恍惚の遊び

＝日本シネマ配給

女子大生の明子（芹河美奈）は金のためヌードモデルに、スケバンの泰子（高見由紀）はシマ争いに、美沙子（青山リマ）は人妻で夫の留守に浮気を―とそれぞれ若い女の生き方を描いている。監督＝中村幻児

感度バツグン ＝ミリオンフィルム配給

大人のおもちゃ屋の主人（鶴岡八郎）は出張のため妻,柾子（珠瑠美）の浮気止めにと貞操帯をはめる。主人の愛人よし子（芝恵美）にも下腹部へ墨で閉門と書き込むが正男（葉崎健二）と浮気して墨を書き直す。一方、柾子も正男と関係があったため…。監督＝木俣尭喬

▲「感度バツグン」の珠瑠美▼「㊙のぞき」の早川みゆき

㊙のぞき ＝日映配給

平太（日野伸二）はＯＬの弓子（早川みゆき）のハレンチな性生活や新妻の雪子（谷玲子）の生活に触れ、たった一人の妹（平河英子）にも裏切られた平太は人間不信になり、黒子（木南清）に助けを求める。監督＝岡本愛

縛られたオッパイもバツグンな谷ナオミ

セックス責め地獄
＝六邦映画配給

東京で一旗あげようと大助（武藤周作）は上京した。山男のような野性的な大助に都会の女たちはしびれてしまうが、都会的な服装になった彼に女たちは見むきもしなくなった。彼は女を悦ばせようとするが…。谷ナオミ、林美樹、城新子、あべ聖が出演。監督＝小川卓寛

ピンク映画化した森昌子の「せんせい」

幼な妻・初夜のよろこび（ミリオンフィルム）

■いまさらピンク映画にいい音楽を要求したところで、〝ゼニがかかる〟で、モンダイにされないが、要は企画である。例の森昌子が歌うところの「せんせい」をピンク映画に採り入れて、ベッド・シーンにもフル活用したのが、この作品だ
■アパート住いの高校の先生（津村茂）は、隣室の人妻（北見マヤ）が、外交員（日野伸二）と物凄い情事に燃えているのを、押入れの割れ目から覗き見してはカッカ。先生が好きという教え子の女学生（丘みゆき）に、いいだろうと迫るが〝結婚するまで待って！〟と拒否されて、なおさらカッカ。キャバレーのホステス（桜マミ）に覗き見の現場をみせて、彼女に逆に迫られて燃え上ってしまう。
■北見マヤのセックス・シーンは定評があるが、ここでも生々しい迫力一ぱいのセックス演技をみせる。北見のダンナ港雄一が女房の浮気をみてしまい、彼女を刺殺する。先生はその現場を覗き見て仰天、ケンギのかかるのを恐れて逃げ出す。だが丘みゆきと出合って「センセイ、私が拒んだばっかりに、先生をダメにしてしまって、女にして……」と彼女は自分からホテルに誘って、先生に処女をあげちゃう。
■なんとも物わかりのいい女のコか、いやなんともダメな先生であることか。いささか理解に苦るしむ。幼な妻となった彼女が、先生のアパートに住み、またまた燃え上ってはセックスに精を出す。そのベッド・シーンに例の「せんせい」の歌がかぶさるのだ。
〽せんせい、それはセンセイ…、なにしろ歌詞の三番まで、延々と歌うのにつれて〽これまた先生と女高生幼な妻が、あえいではのけぞり、オッパイを吸われ、〽それはセンセイ…で幼な妻が腰を動かし、先生もハッスルする。一曲は三分、とにかくいささか長いし、だれる。だが、「せんせい」をピンク映画仕立てで、バッチリみせる南雲孝監督は割り切った手法。おもしろい試みだ。

眼 次郎

せんせいに処女をあげちゃう丘みゆき

絶妙のSEX喜劇 抱腹絶倒の出来ばえ

性処理のテクニック（国映）

■男性には、昔赤線いまトルコがあるのだが、女性のための処理場はというと、まるでない。そこで、関孝二監督考えに考えて、六本木に洋装店にカムフラージュしたコールボーイの店を開店した。
■マダムは高見由紀、サオ自慢の坊やたちは五人いて、その訓練士がボインの青山リマ。客は試着室のマジックミラーから、半裸の商品を覗いて品定め、という寸法だ。未亡人の泉ユリがこの店の上得意で、彼女の紹介でこの店の常連になる精力絶倫奥さんが有沢真佐美。夜毎いじめられて、セックス・ノイローゼの亭主が野上正義という役まわり。
■パンティをとり、ネグリジェをたくしあげて中腰になり、いとも珍妙なるスタイルでセックスの準備体操までしてセマる、妻の有沢真佐美を相手に、そろそろ衰えはじめた野上は、マムシの粉を飲んで涙のギリマンジャロ。これじゃ女房、欲求不満にもなろうというものだ。泉ユリに誘われてコールボーイを買ってみて、そのたくましさに夢中になり、積年の不満を一気に解消せんとばかり、続けざまに挑むものだから、火乃浦英司クン、ついにダウン。一方、弱きに泣く野上も、訓練次第で強くなると聞かされ、女房がいりびたっているとも知らず、同じ店にトレーニングのため入店。一物を電気掃除器の筒の中にスッポリ入れて吸いこませ、ピン吊りでソリ具合を調整し、コンニャクのマッサージで射精時間の調節をするかと思うと、ふんどし一本で海岸へ出て、果ては砂に一物で穴をあけさせられ、艶だしのために海草をこすりつけられて、どうにか一人前になるが、女房に見つかり大騒動。
■ギャグが、バックのディキシーランドジャズにピタッと合って、いやはや愉快で楽しい喜劇にはなった。下になった女の片足を高々と持ち上げて、船の櫓にみたててギッチラこぐ〝いかだ流し〟やら仰臥した男の腹の上に坐った女をクルリ一回転させる〝回転帆かけ船〟など、体位にも工夫があり笑わせるが、脱がない高見由紀なんてキライ！　ほそかわ圭

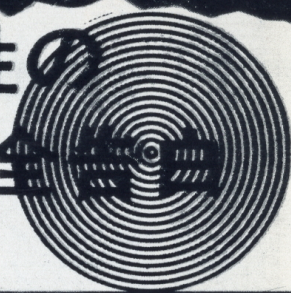
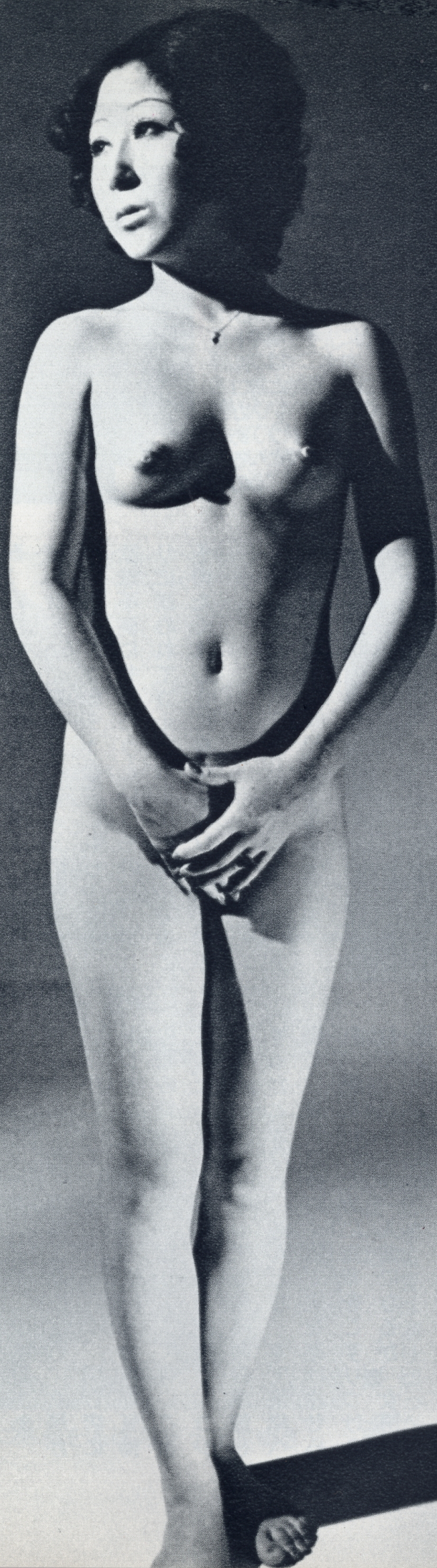
豊満なおっぱいで迫る有沢真佐美

●ピンク映画みたまま

ポルノ対話

性の全告白

早熟な肉体の構造《篠原千恵》の意外な感じ方

雪国生まれの白い肉肌が朱色に染まるベッド秘話……

篠原千恵の略歴● 28年6月16日青森県五所河原市生まれ。高校中退後、ヌードモデルから45年「大色魔」（東京興映）でデビュー。年の割りにおちついているため人妻役や情婦役が多い。肌が白く面長で典型的な青森美人だ。最近作「夜の沖縄・ポルノ狩り」（OP映配）。趣味はレコード鑑賞と料理すること。身長161、B86、W58、H87、体重48。アクターズプロ所属。

●肌の色が白くてキメ細かいけど雪国生まれかい？

千恵　青森県の五所河原で生まれたの。父が警官だった関係から小学校二年で上京して岐阜とか千葉とか各地をいろいろ変わったわ。

●この世界に入ったキッカケは？

千恵　中学三年からモデルをやって、高校二年で中退してセミ・ヌードモデルになったの。上原アキという女優をやっているイトコがいたので一緒にやっていたの。

●父親が警官でうるさくなかった？

千恵　一人っ子だし信用してくれてたからなんともいわなかった。十八才になるまで二年間モデルをやって十八才からピンク女優になったの。

女体開花

小学五年ですでに変化が起こり、六年ですっかり大人になった肉体が17才で初体験するまでの早熟プロセス。

●女のしるしの生理は何才であった？

千恵　小学校六年の夏休み。プールに行くときなっちゃったの。

●体毛はいつごろ生えてきた？

千恵　やっぱり小学六年生のころね。すごく恥ずかしくてイヤだったわ。いまはうすい方だけど、撮影のときははみ出さないように剃っちゃうの

●オッパイが大きくなったのは？

千恵　最初、痛くなったの。小学五年の

ころね。体が大きかったからすべて早かったわね。六年生でもうブラジャーしてたわ。
●早熟だね。で、一番感じる所はどこ？
千恵　耳と胸ね。太モモも感じるわ。
●初体験はいつ？
千恵　十七才のときよ。
●そのときのこと聞かせてよ。
千恵　相手は十九才の大学生。なにしろ恐くて逃げ回ったからアザだらけになっちゃったわ。半分強引なんだもん、泣いちゃったわ。終ってからすごくイヤな感じがした。
●じゃ、その人とはそれっきり？
千恵　二年くらい関係が続いてから別れたけど、いまでもよき相談相手としてつき合ってるの。
●それから何人くらいの男と関係した？
千恵　十人くらいね。
●いま恋人いるの？
千恵　いるわ、25才のサラリーマンだけど、つき合ってまだ間がないの。

性感無情

SEXがあまり好きじゃないという彼女。それでも週二、三回はやる。その感じる部分はまれなる名器か!?

●その彼とは週に何回？
千恵　二、三回よ。あたしあまりSEXって好きじゃないの。
●好きじゃないわりによくやるよ。で、一晩に何回欲求する？
千恵　一回だけで満足よ。
●時間は？
千恵　二、三十分かな。
●エクスタシーは何回イク？
千恵　一回はいい気持になってイクわ。
●SEXキライだなんて、結構いい気持になってるくせに……。どんな体位がいい？
千恵　正常位だけしかやらないわ。
●69とかフェラチオはやらないの？
千恵　イヤダー。でも本当に好きな人ならやるかもね。
●コンドームは？
万恵　使ったことがないわ。体調に合わせてやるから大丈夫。
●あのときどんな声出すかな。
千恵　映画ほどオーバーではないけど彼

の名を呼んだり、まあ普通ね。
●キミのSEXほめられたことある?
千恵　あるわ、いいって。

結婚願望

この世界の人たちはスーッと消えるみたいに結婚するけど私は堂々とやりたい。女優と結婚に憧れゆれ動く女心。

千恵　男性的で亭主関白的な人がすき。顔やスタイルには興味がないの。その人柄にホレるのね。
●どこにセックスアピール感じる?
千恵　目ね。ジーンと感じちゃうわ。
●男にホレるとどうなる?
千恵　つくしちゃう方ね。
●ところで初めてベッド・シーンをやったときどんな気持した?
千恵　映画では今泉洋さんで実演では山本昌平さんだったけど、夢中でわかんなかったわ。
●撮影中にエレクトした男優に出合ったことある?
千恵　ある、ある。ベテランのNさんだけどおかしくて笑っちゃったわ。
●ところでキミは東北だからお酒は強いだろね。
千恵　日本酒専門なの。お銚子で六、七本は軽いわね。酔うと陽気になるの。
●タバコは一日何本くらい喫う?
千恵　なければ喫わなくていいけど一日20本くらい。ラークが好き。
●東北女は寒いからしまり具合がいいのかな。で、キミはどんなタイプの男性が好き?
●パンティは何枚もってる?
千恵　四十枚くらいね。白っぽい柄ものばかりで派手なのはキライよ。
●結婚はしたい?
千恵　したいわー。この世界の女優さんって結婚してスーッと退めていくけど私はちゃんとした結婚をしたいわ。この仕事も好きだし迷っちゃうわ。現在は映画より実演の方が多いの。だから夜はアルバイトでクラブに勤めているわ。

洋画ポルノ情報

若松孝二の洋画異色作「黒い獣欲」

若松孝二監督がキャストはすべてアメリカ人を使った「黒い獣欲」(NCC配給)は毛色が変っている。麻薬を女陰にかくしたニグロをマフ

「黒い獣欲」の一場面

「乱行！女子学生寮」の一場面

イアがそこにピストルをぶちこんで、殺害、その復讐に燃える黒人青年が、つぎつぎと白人女性を強姦し、殺害してゆく。すさまじいファックシーンと暴力描写で、アメリカン・ポルノに挑戦というわけだ。脚本、カメラとスタッフは若松プロ。こうした新しい映画作りは国際市場に輸出して稼ごうというねらいからだ。「スキャンダル夫人」と併映で十二月五日から公開。

高校生のSEX体験
「乱行！女子学生寮」

高校の性教育と実験と実演をかなりエスカレートさせて描いた「乱行！女子学生寮」はドイツの学校教育の姿を大胆にリアルに、明るいタッチでSEXが描かれているのがみどころ。監督ミカエル・トーマス。12月中旬公開。

「スキャンダル夫人」の西谷純子と妃殿下役の左京未知子

二年ぶり陽の目をみる武智の「スキャンダル夫人」

去る45年11月に完成して、オクラになっていた武智鉄二監督の「ビデ夫人の恋人」が、「スキャンダル夫人」のタイトルで、二年ぶりで公開される。配給は、NCC。当時、政治的テーマに加えてスキャンダラスな素材を扱っただけに、製作中も、完成後も映倫審査がもめて話題をまいた作品。ビデ夫人（西谷純子）の乱交パーティーを皮切りに妃殿下（左京未知子）、樺美智子、皇太子（山本豊三）、元首相夫人（応蘭芳）、ノスカル大統領（小林重四郎）警視総監らが登場してレスビアンや、死姦、近親相姦とショッキングなシーンが描かれる。

特撮シーンもあって、製作費が三千七百万円。第三プロという独立プロとしては、ぜいたくな製作ぶり。武智監督は「全篇パロディであり、民族主義思想とはなにかを考える映画。実在のモデルはない」といい、どんな反響を呼ぶか注目のマトだ。

樺美智子役の麻倉まゆみ

上から「変態白書」「女地図」「性歴二〇〇〇年」の一場面

洋画ポルノの新作がゾロリと待機しているのが、グローバルフィルム配給の三本。SEXドキュメントもので、「禁断㊙女地図」はイタリアの長篇記録映画だ。オナニーショーや、レズ、特出しストリップなど、SEXと女にからむ、世界30ヵ国の㊙地帯をカメラにおさめている。サンドラ・ジュリアン主演の「変態白書」「性歴二〇〇〇年」など、12月上旬から下旬にかけて、それぞれ公開される。

エロチック風刺劇の鬼才監督
山本　晋也

★ピンク映画にはとかく明るい風刺や、皮肉が少ない。そんな中で、映画館のお客をワーッとわかせているのが、チョクさんこと、山本晋也監督。

本名が伊藤直。昭和14年生れ、三代目の江戸っ子で、そのせいか人情の機微、庶民の素朴さといったものを画面ににじみ出す

★日大芸術部卒。NET、岩波映画から、40年に「狂い咲き」でデビューした。おかたい映像会社からまさに〝狂い咲き〟である。そしてその咲き方は、最近とみに冴え出している。

「女湯シリーズ」で一時代を作り、ヒットもとばした。現代社会と人間性をほのぼのした語り口の中で、切れ味のいい風刺もみせる。得難い監督だ。

★赤軍派の浅間事件を題材にした「ポルノ総括・狂気の欲情」を手がけ、恥毛がタブーという恥毛鎖国ニッポンを風刺して、「ヤングレディの性生活」で、毛の話に勇ましく挑戦。「女体列島改造論」「スケバン女高生性と非行」など、社会現象を目ざとく映像化してしまう。

★「ボクを喜劇屋というが、そうじゃない。真面目に描けば喜劇になる。現代人を痛烈に皮肉るのが楽しくて監督やっているわけ…」と少年のおもかげと純粋さがそこにある。東京興映専属だが、屋台骨を背負っているだけに、社長はもっと彼を遇する責任がある。33才。（眼）

手拭は
手足をふって
はいりましょう。

「濡れた標的」の青山美代子

日活ポルノ情報

この秋の大学祭では日活ロマン・ポルノが大モテで、田中真理らが東北大映画祭に出席して、一席〝ポルノ論〟をのべるなど、いまや、大学生で注目株となった。

12月中のフィルム貸出し申込校は十六校というにぎやかさ。

ところで12月番組は一週（11/29　12/8）が「色情姉妹」（監督曽根中生、二条朱美、続圭子）「セックスハンター濡れた標的」（監督沢田幸弘、伊佐山ひろ子、青山美代子）「あるヌーデストクラブの記録・裸の島」「金髪愛欲シリーズ・草むらの快楽」。二週（9日　15日）「金髪娘とエロ事師」「華麗なる愛の遍歴」「夜這い虫」。三週（16　26日）「OL日記牝猫の情事」（監督加藤彰、中川梨絵、宮下順子）「㊙弁天御開帖」（監督武田一成、二条朱実）「性医学講座・フリーセックス」「初夜」、四週（29日　1/4日）「哀愁のサーキット」（監督村川透、木山佳）「疾風の女たち」（監督長谷部安春、田中真理）となっている。

シリーズものが、影をひそめ、意欲的な作品が登場するのも話題だろう。

▲「牝猫の情事」

▲「牝猫の情事」の宮下順子

「色情姉妹」の二条朱美

「濡れた標的」の伊佐山ひろ子

OP系12月の映画ガイド

期間	上映作品	
11/28〜12/4	(オール・カラー)女のワイセツ・秘中の秘(OP映配)	変質者(ミリオンフィルム)
12/5〜12/11	セックス修学旅行(OP映配)	(オール・カラー)感度バツグン(ミリオンフィルム)
12/12〜12/18	ただれた性炎(OP映配)	(オール・カラー)さわり魔(OP映配)
12/19〜12/25	第三の色魔(OP映配)	
12/26〜1/1	制服の白い肌(OP映配)	痴漢天国(OP映配)

恵通系12月の映画ガイド

期間	上映作品		
11/28〜12/4	変質者(ミリオンフィルム)	女淫の丘(葵映画)	女のワイセツ秘中の秘(OP映配)
12/5〜12/11	感度バツグン(ミリオンフィルム)	SEX責め道具(六邦映画)	セックス修学旅行(OP映配)
12/12〜12/18	男女の快楽(日本シネマ)	色狂い(国映)	ただれた性炎(OP映配)
12/19〜12/25	痴漢365(東京興映)	現代セックス解放論(葵映画)	第三の色魔(OP映配)
12/26〜1/1	暴行兇悪犯(東京興映)	痴漢天国(OP映配)	制服の白い肌(OP映配)

■編集後記■

■ことしもあと一ヵ月。早いものです。

■クルマのCMじゃないけど、"ふりかえってみるのもいいサ……"で、ことしのピンク映画界をふりかえってみた。

ピンク映画が老化しつつある。その若返りはなにか。刺激しあうことも必要だ。他の映画企業の鋭い斬りこみ、傷だらけの中から立ち上る勇気が必要なんじゃないでしょうか。

■沢賢介監督から「石和でカメラ回してるから、のぞきに来てみませんか」という現地からの電話で、早朝、クルマを飛ばして取材。「なんとか上昇させたい」と情熱を燃やしてガンバル沢監督。スタッフも意欲的だった。

■新宿・カブキ町にある季節料理の飲み屋「O」には、よくピンク映画のスタッフが集る。いろんな話が出る。そこからまた映画作りの手がかりをつかみ、当方も編集のネタを拾う。新しいピンク映画スタッフのタマリ場でもある。

■監督さんへお願い。"初号試写"の日時を知らせて下さい。時間のゆるす限り、見に行きます。

■ある日の夕方。青山美沙さんから電話で「相談したいことあんの。12時(夜中)に会いたいけど……」。忙しいさなかだったけど、新宿のクラブに出かけて行く。他社出演のことや身の上やら、身の下相談。女優がひとりで生きてゆく姿を知るだけでもプラス。

■週刊誌、芸能誌から、さかんにポルノ映画の総括の取材に記者がやってくる。昔は色目でしかみられなかったこのピンク映画の世界も、いまや大手をふり、マスコミが追いかける。時代の流れというべきか。

成人映画

成人映画■昭和47年12月1日発行・通巻83号・毎月1回発行■編集兼発行人・川島のぶ子■発行所・有限会社・現代工房＝東京都港区六本木三の四の三四・601号・〒一〇六■電話・東京03（583）1513■定価二〇〇円

NCC配給

〈カラー作品〉

乱行！女子学生寮

GIRLS WITH OPEN LIPS

女子大の寮から
しのび泣きが洩れる………
性の好奇心を爆発させ
大胆に男を引き入れる
夜ごとの痴態

ナディーヌ・デ・ランゴット
マルグリット・シーゲル
監督ミカエル・トーマス

12月上旬ロードショー！

パラス東映丸の内 (535)4740

新宿東急 (200)1981

近日ロードショー

大阪			名古屋		札幌
梅田日活シネマ	大阪東映パラス	三宮国際日活	名古屋セントラル	堀田グレート	札幌東映パラス

〈カラー作品〉

スキャンダル夫人

爛れるような情欲と虚妄に溺れる白い肉体……

MADAM・SCANDAL ■監督 武智鉄二／西谷純子／荒木一郎／応蘭芳

〈カラー作品〉

黒い獣欲

黒い野獣がまた女を襲う！
恥辱と苦痛にうめく女体の絶叫！

監督 若松孝二
バーナード・ジョンソン
マーサー・スターリング
ドナ・ケイ
OFAY

全国縦断大公開！

25日11月より	30日11月より	12月2日より			12月5日より			9日12月より	27日12月より
静岡カブキ	小田原オリオン	名古屋メトロ	沼津東映パラス	千葉京成	平塚中央	浦和オリンピア	江東スカラ座	浜松大映シネマ	盛岡みなみ東映

「成人映画」昭和四十四年十二月十八日第三種郵便物認可 昭和四十七年十二月一日発行毎月一回一日発行
通巻83号昭和47年12月1日発行 編集発行人 川島のぶ子 発行所 東京都港区六本木三ー四ー三四 六〇一号室 電話(五八三)一五一三 現代工房 定価二〇〇円